



令和6年3月1日

JA 中野市営農センター

JA 中野市キウイフルーツ研究会

本年の初期生育は、平年より早くなる見込みです。ただし今後の気象によっては、気温が上がりさらに生育が進む可能性があります。各園地の生育状況をよく観察し、予防を意識した防除を実施しましょう。

**本年も防除記録の徹底・提出をお願いします。**



## 病害虫防除

### ◎発芽前の散布

		散布日	月	日
散布時期	発芽前（3月中下旬～）	散布量 _____ ℓ		
散布薬剤	水 90ℓ 当たり 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml 石灰硫黄合剤 10ℓ			
対象病害虫	越冬病害虫（カイガラムシ類）			
散布量	10a 当たり：300ℓ			
注意事項	① 石灰硫黄合剤は、他の園地や隣接するハウスビニールにかからないように散布してください。 ② 石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル 100 倍でもよい。 ③ 剪定痕には、必ずトップジン M ペーストなど癒合剤を塗布してください。 ④ <b>果実軟腐病対策</b> ：前年度の着果痕(果柄)には、果実軟腐病の越冬菌が潜んでいます。着果痕を切除し、越冬菌を減らしましょう。			

次回発行予定

5月2日